

交換留学(派遣)近況報告書

あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	ロンドン大学アジアアフリカ研究学院
留学先での所属学部・研究科:	Development Studies
留学先での在籍身分:	交換留学生
留学期間:	2019年 8月 23日～ 2020年 6月 12日
神戸大学での所属学部/研究科:	国際人間科学部
学年(出発時):	3
本報告書記入日:	2020/3/12



1. 出発前について		
1-1	交換留学以前に海外留学の経験はありますか。 「はい」の場合、留学先及び留学期間を記入ください。	いいえ
1-2	このプログラムを最初にどのように知りましたか。 その他を選択した場合、記入してください。	神戸大学のホームページ
1-3	このプログラムに参加した動機を教えてください。 学術的な目的(研究を深めるなど)	最もよく当てはまるものから順に1~4まで順位をつけてください。(1:最も強い動機) 1
	語学力の向上	2
	プログラムの時期がちょうど良い	3
	プログラムの長さがちょうど良い	
	かかる費用がちょうど良い	
	地理的な条件が良い	
	将来のキャリアのため(就職に役立つなど)	
	家族のバックグラウンドと関係がある	
	異文化を体験したい	
その他(具体的に記入)		
1-4	出発前にどのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば記入してください。	過去の渡航者のブログや学校のサイトを見て自分の学びたいことと重なっているかを確かめた
1-5	VISAについて	
	VISAの種類:	Tier4
	申請先:	英国VISAセンター大阪
	必要日数:	3週間
	VISA取得にかかった費用:	約9万(ビザ申請代+NHS)
	VISA申請のために求められた書類:	CAS(念のため銀行の預金証明書や戸籍の書類も用意していたが不要なかった。
	その他、VISA申請の際のトラブルや、注意すべき点があれば記入してください。	ギリギリに申請したため、VISA受け取りが渡航の1週間前だった。早めに動き出すことが大事だと思います。
1-6	出発前に必要とされた予防接種の種類・回数・費用	なし
1-7	どのような種類の保険に加入したかを教えてください。 また、現地で加入した保険があれば記入ください。	学校指定の付帯海学のみ
1-8	その他に必要な手続き、方法、料金等	

2. 留学先到着後の手続きについて		
2-1	到着時について	
	利用旅行会社(航空券の手配をした会社):	アジアナ航空
	到着空港名:	ヒースロー空港
	空港到着時間:	朝5時ごろ
	到着地からの移動手段:	公共交通機関(バス・鉄道)
	移動の所要時間・料金:	1時間
	到着地からの移動で注意する点があれば記入ください。	大きなキャリーケース、ひとまわり小さいケースの二つとバックパックを背負っていた。ヒースロー駅、キングスクロスのどちらにもエレベーターがあり、大きい荷物でも困らなかった。朝一番の電車を使ったため、ラッシュを避けることができ快適に寮までたどり着けた。最寄りの駅から寮までの道や方角をあらかじめ調べておき、荷物から目を離さないようにすると良い。
2-2	住居について	
	住居のタイプ:	大学寮
	その他を選択した場合、記入してください。	
	住居(寮、アパート)の名前:	Dinwiddy house
	部屋の種類:	一人部屋
	その他を選択した場合、記入してください。	
	ルームメイト:	その他
	その他を選択した場合、記入してください。	現地学生や交換留学生のミックス
	住居の探し方:	大学の斡旋
	その他を選択した場合、記入してください。	
大学までの通学時間・手段:	徒歩20分	
	住居の周りの環境はどうか。	近くにスーパーや駅があり大変ごしやすい。人の少ない通りは避けているため、治安悪さを感じない。また、都会なので明かりが多く安心する。
	毎日の食事はどうしていますか。	自炊
	住居は渡航前に、または渡航後すぐに見つかりましたか。トラブルはありませんでしたか。	問題なく見つかったが、料金の支払いで何度もミスをしてしまい現地とのメールのやり取りをした。安い寮は埋まりやすい印象があるため、早めに動き出す必要がある。
2-3	留学生向けオリエンテーションについて	
	留学生向けオリエンテーションの有無について:	有り
	参加義務について	必須
	参加費用:	無料
	有料の場合、金額:	
	オリエンテーションの内容を記入してください。	安全管理や体調管理、もしもの時の相談場所などを教えてくれた。また、日本語学の先生をもしもの時の相談相手として紹介してもらえた。
2-4	その他、渡航してから必要な手続きについて	
	現地で滞在許可申請は必要ですか。必要な場合、申請方法、料金、取得に係る日数等を記入してください。	日本で申し込んだVISAの証明となるBRPカードを郵便局に受け取りに行く必要がある。日にちと郵便局の支部を登録しておき、カウンターでパスポートと自分の滞り場所の住所を見せて受け取る。
	その他、現地到着後にした手続き(健康診断、予防接種等)があれば、方法、料金等を記入してください。	自分のかかりつけ病院の登録を行った。寮が近くの病院の職員を呼んで1週間ほどレセプション横に申し込みブースを設けてくれた。

3. 語学方向上のためのコースについて		
3-1	語学力向上のために、大学等のコースに参加しましたか。参加した場合、大学(語学学校)名、コース名、料金、期間等を記入してください。	本コースが始まる前に4週間のPre-sessionalコースに参加した。

4. 大学の授業について		
4-1	履修登録について	
	履修登録の時期:	出発後
	履修登録の方法:	オンライン
	その他を選択した場合、記入してください。	
	登録時に留学生として優先・配慮はありましたか。	無し
	優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。	
	希望通りの授業が履修できましたか。	はい
	希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。	ただ、留学生だと受けられない授業があるため、どうしても受けたいものがあれば学部の係員に連絡を取る必要がある。友人の中にはその申請が通った人もいた。

4-2	現在までに履修している授業について記入してください。	クリックで別シートへ
4-3	一週間のスケジュール(授業時間、課外活動等、毎日の生活)を記入してください。	クリックで別シートへ

5. 現在までの感想を自由に記入してください。(800字～)

授業

Pre-sessionalは自分にとってお金はかかるが参加してよかった1ヶ月となった。英語で本格的なエッセイを書いたり、プレゼンをするのが初めてだったため緊張していたが、周りも英語に不安を抱えている生徒がいる環境に身に置くことで、堂々と間違えながら基本を学ぶことができた。英語の能力値の低さに気づくことができ、本コースが始まるまでに英語に慣れることができただけでなく、ロンドンでの一人暮らしに慣れることができた。また、この期間中に同じクラスメイトと毎日顔を合わせることにするため、友達を作りやすかった。

本コースが始まると授業の内容はSOASならではの空気感で、既存の団体や政策、社会の仕組みに対しての批判的な考察が多い。自分の今まで知識がなかった分野の授業も数多くとっているが、わからないことがあれば教授のオフィスアワーを利用して質問することで疑問点を解決することができる。また、授業前に出されるReadingをこなしておけばなお理解しやすい。授業はレクチャーとチュートリアルで構成されており、readingをこなしていればチュートリアルに貢献することができる。ただし生徒間で議論が活発になってくると内容を理解することが困難になるので、始まってすぐ自分が話せると思ったらその時点で話すよう心がけている。英語に不安があっても根気よく聞いてくれる人が多い。また、間違ったことを言っても誰も気にしないため一人当たりの発言量が多い。だが懸念点として、初めのうちは学生もreadingをこなしているが、授業を重ねていくうちに授業を欠席したりReadingをやっていない生徒も出てくる。自分のモチベーションを保つことの難しさを感じる。

ロンドンでの暮らし

大半の時間は授業の予習や課題に費やしているが、時々友達と一緒にご飯を作ったり、マーケットやミュージカルを観に行ったり、カラオケに行ったりしている。日本語学部で学んでいる学生が多く所属するJapanese societyに所属すると友達ができやすい。年末にはそこでできた友達の家にホームステイさせていただいた。ただ、ロンドンに暮らしていても、予定が入っていなければ部屋に籠りがちになってしまいがちなところが一番の問題点だと感じる。

4-2 現在までに履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数/週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	Introduction to Development Studies	オムニバス	3	30	英語	50ほど	課題図書に関するエッセイ1000words二本、3000wordsエッセイ1本
2	Development from Below	オムニバス	3	30	英語	50ほど	2000wordsエッセイ二本、期末に試験
3	Introduction to Global Forced Migration Studies	Dr Tania Kaiser	3	30	英語	30ほど	3000wordsエッセイ一本、グループプレゼン一本、期末に試験
4	Political economy of finance, debt, and development	Dr Thomas Marois	2	15	英語	30ほど	750wordsエッセイ31%、2200wordsエッセイ60%、授業への出席態度9%
5	Issues of the Working Poor and Development	Dr Jens Lerche	2	15	英語	30ほど	1000wordsエッセイ、2000wordsエッセイ

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

--

4-3 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
8:00	起床	起床	起床	起床	起床	宿題または遊び	宿題または遊び
9:00							
10:00							
11:00							
12:00	11:00~	授業の宿題	授業の宿題	11:00~			
13:00	Lecture2			Lecture	12:00~		
14:00	h			2h	Tutorial		
15:00				13:00~	1H		
16:00				Lecture			
17:00				2h			
18:00							
19:00	17:00~						
20:00	Tutorial			17:00~			
21:00	1h			Tutorial			
22:00		19:00~		1h			
23:00		Lecture					